

【1 分解説】チャイルドペナルティとは？

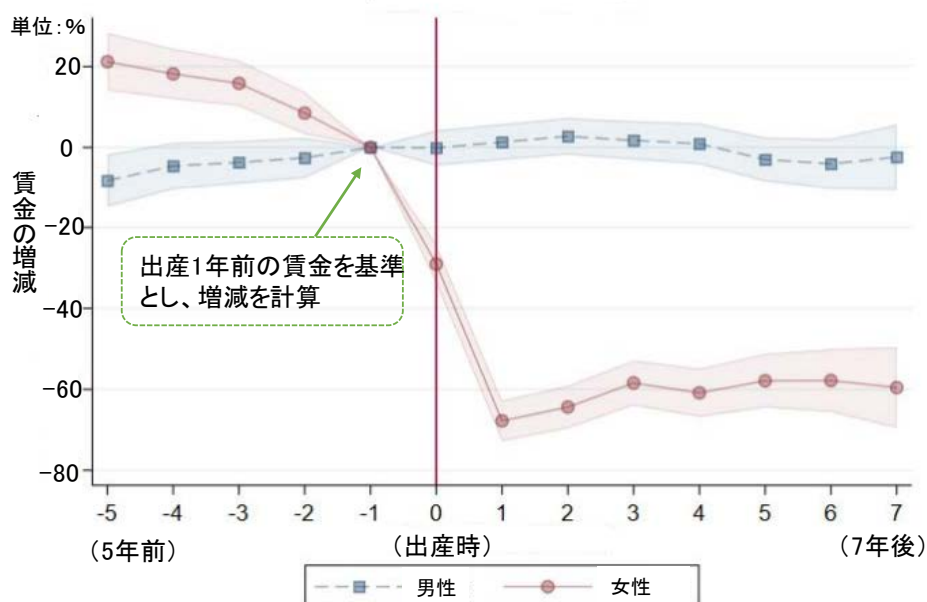
総合調査部 マクロ環境調査グループ 主任研究員 白石 香織

チャイルドペナルティとは、子どもを持つことによって生じる社会的・経済的に不利な状況を指します。別名「マザーフードペナルティ」とも呼ばれ、母親がこうした状況に陥る可能性が高いこと示しています。米大学の研究ではチャイルドペナルティを「子を持つことにより生じる賃金格差」と定義づけ、先進国で学歴等の性差が解消されても残る男女間格差の要因は、チャイルドペナルティにあるとしています。

特に日本では出産による賃金下落の傾向が強いと言われています。出産1年前の賃金を基準とした出産前後の男女の賃金推移を見ると(資料)、男性は子の誕生後も変わらない一方で、女性は出産1年後には67.8%減少し、その後停滞しています。

日本では「子育て罰」とも訳され、出産による賃金下落だけでなく、広い概念で子育て世代に「罰」を与えるかのような社会の価値観、政策、企業慣行等を含む場合があります。例えば、母親に偏る家事育児負担、保育園の待機児童問題、児童手当の所得制限や長時間労働等が該当しうるとされています。政府は男女賃金格差を含むジェンダーギャップや少子化対策に力を入れていますが、チャイルドペナルティ解消がそのカギとなるかもしれません。

資料 日本におけるチャイルドペナルティ



(出所)財務総合政策研究所「仕事・働き方・賃金に関する研究会－一人ひとりが能力を発揮できる社会の実現に向けて」報告書(2022年6月)より第一生命経済研究所追記

関連レポート

・「DE&Iとは？～公平性(Equity)実現が人材戦略のカギ～」(2023年3月)

<https://www.dlri.co.jp/report/dlri/233162.html>

・「DEI&Bとは？」(2023年3月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/236744.html>